

Graduation Policy (GP)	
記入者氏名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科名	教育学部
学科・専攻等名	学校教育教員養成課程
コース等名	教科教育コース英語教育選修
細分名	
教育学部の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>学校教育および社会のさまざまな分野において教育の素養をもって貢献できる人材の養成を目的とする。</p>	
教育学部の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1．人間と教育に関わる事象を、問題意識をもって思考、調査、分析することができる。 2．自らの思考、調査、分析の結果を適切な方法で表現することができる。 3．自らの専門において習得した知識や能力を、実践に活用することができる。 	
学校教育教員養成課程の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>子どもを愛し教育および教職に対する責務を深く自覚することを基礎として、児童・生徒の生活指導から教科指導に渡る幅広い能力を持った人材を養成する。また、教職を目指すものとして、自らの生き方について謙虚に反省できる人材を養成する。</p>	
学校教育教員養成課程の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1．教育の理念や教職の意義を理解し、広い視野から自己の将来のあり方を展望することができる。 2．児童・生徒の心身の発達段階や教育方法・技術の基礎を理解修得し、発達段階に応じた指導をすることができる。 3．道徳・特別活動・生徒指導に関する教育方法を修得し、児童・生徒の生活全般に渡る指導を行うことができる。 4．参観・参加実習、介護等体験実習、基本実習、委託実習および事前・事後指導の経験を通して教育現場における指導全般を実践的に理解・体得し、現場での適切な指導を行うことができる。 	
教科教育コース英語教育選修の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	

以下のような能力や資質を備えた人材を養成する。

- 1．英語における優れた運用能力
- 2．英語教育学・英語学・英米文学・異文化理解に関する基本的な知識の獲得や理論の理解
- 3．次代の子どもを育てるための視野や知見の獲得
- 4．外国語としての英語の教授・学習に関する理論の理解とそれに裏打ちされた実践的な指導能力

教科教育コース英語教育選修の Graduation Policy (具体的に記述・箇条書き)

- 1．英語を使ったコミュニケーション活動ができる。
- 2．言語一般および英語という言語についての十分な知識をもち、それを英語の教授に活用することができる。
- 3．言語や文学を通じて、英語話者の社会・文化等に関する知識を獲得しており、それらに洞察力をもって理解を示すことができる。
- 4．人間の認知・学習について、知識を獲得しており、それを言語の教授に活用することができる。
- 5．上記の能力を自ら総合・統合し、英語の教授と学習についての理論を踏まえ、実践に応用することができる。
- 6．情報化・多様化する現代ならびに将来の日本と国際社会の動きに対応できる。